

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指す

売上高
1,000億円

営業利益
100億円

NOPAT-ROE
8.0%程度

DOE
5.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 成長市場と先駆的領域への注力

サステナビリティ分野を中心とする成長市場や先駆的領域に社内リソースの多くを配分して注力

2. 外部リソース活用による事業基盤拡大

海外で市場成長が見込まれ、外部リソース活用を前提とした事業基盤の拡大を推進。国内は効率化と外部連携を重視

3. 人材・事業活動の全社最適化

設備刷新やDXを絡めた職場環境改善を推し進め、総合塗料メーカーとしての優位性を発揮

4. 国内塗料市場への対応

国内市場は大きな伸長が難しいと見込み、サステナビリティ関連分野に注力し収益性改善に努める

③ 対処すべき課題

① JISマーク表示の一時停止問題

- 検査結果改ざん・規格逸脱製品の出荷。2024年3月7日に解除済み
- 外注管理不備で2024年11月29日に一時停止通知。特別調査委員会調査報告書を2025年5月12日公表
- 是正措置の徹底と管理体制強化を進行中

② 原材料コスト改善の遅滞

- 原材料価格高騰への完全な対応に至っていない
- 生産工場・設備の老朽化問題が残存

③ 組織体制と人材育成の強化

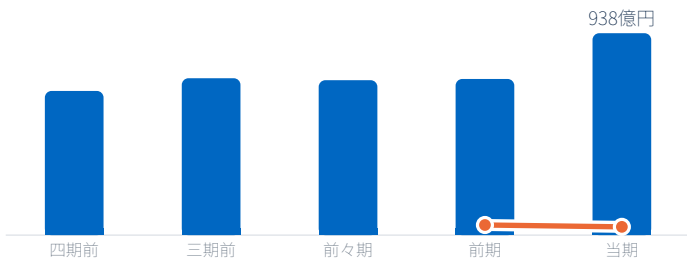
- 事業セグメント・塗料部門ごとの戦略を明確化し適切な人材育成と組織再構築が必要
- 部門ごとの個別最適にとどまり総合力を発揮できていない
- 人的資本経営への本格的取組みは検討段階

面接で使えるポイント

- 創立100周年となる2029年度に連結売上高1,000億円・営業利益100億円の達成を目指している
- サステナビリティ関連分野を成長市場として注力し、新興国の海外塗料市場拡大に注力
- 2023年の品質不適切行為から信頼回復に向けて管理体制強化と全社最適化に取り組んでいる

証券コード 4611

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
938億円営業利益率
4.1%財務健康度
49点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 45.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
623万円

化学内 148位/204社

平均年齢
41.2歳

化学内 132位/204社

平均勤続
16.0年

化学内 104位/204社

女性管理職
4.1%

化学内 133位/173社

男性育休
52.2%

化学内 135位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: “交わる”をコンセプトに新本社へ 本社機能をワンフロアに集約

要するに
塗料、照明機器、蛍光色材の製造・販売を主力事業とする化学メーカー

主力事業・セグメント

- 国内PaintCoatings 78.1%
- Lighting 11.3%
- OverseaPaintCoat 9.3%

強み・特徴（公開データから）

- 将来性評価は晴れ時々曇り
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

